

【厳島神社】



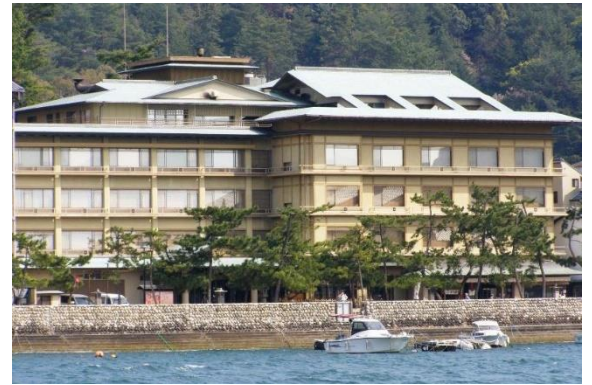
【宮島参拝遊覧船ナイトクルーズ】



広島湾に浮かぶ厳島（宮島）の北東部、弥山（標高 535m）北麓に鎮座する。厳島は一般に「安芸の宮島」とも呼ばれ日本三景の 1 つに数えられている。平家からの信仰で有名で、平清盛により現在の海上に立つ大規模な社殿が整えられた。社殿は現在、本殿・拝殿・回廊など 6 棟が国宝に、14 棟が重要文化財に指定されている。そのほか、平家の納めた平家納経を始めとした国宝・重要文化財の工芸品を多数納めている。

【ホテルみや離宮】

宮島栈橋から徒歩 3 分の立地。海側の部屋からは穏やかな瀬戸の海、一部の海側の部屋からは朱が鮮やかな大鳥居、街側の部屋からは勇壮な宮島の霊峰弥山、歴史的建造物の千畳閣や五重塔、きめ細かな心くばりと洗礼された調度品をしつらえた数奇屋造りのお部屋が特徴。



【福山城】

福山城は 1615 年（慶長 20 年）の一国一城令発布後の元和 8 年（1622 年）に竣工した城である。大規模な新規築城による近世城郭では最後の例となった。備後福山藩の藩庁かつ藩主の居城であった。形式は輪郭式の平山城だが、2 重の堀や瀬戸内海へ抜ける運河を持つために海城としても知られる。

【明王院】

明王院は、中道山円光寺明王院と称し、国宝の「本堂」「五重塔」を有する真言宗大覚寺派の古刹として知られる。もとは西光山理智院常福寺といい、大同 2 年(807)弘法大師の開基と伝えられている。その後、鎌倉時代後期の南都西大寺流律宗の勧進活動や草戸千軒の繁栄の影響もあり、鎌倉時代末期に本堂再建、室町時代前期に五重塔を建立など、「中世・西国屈指の寺院」。

